

平成30年度第1回契約監視委員会が、平成30年6月7日(木)、労働者健康安全機構会議室において開催されましたので、その議事概要についてお知らせいたします。

平成30年度 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 第1回契約監視委員会議事概要

| | | |
|---|--|--|
| 開催日及び場所 | 平成30年6月7日(木) 8:58~9:52 開催場所:独立行政法人 労働者健康安全機構会議室 | |
| 委員 | 委員 竹内啓博(公認会計士) 委員 田極春美(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)主任研究員) 委員 山本 勲(慶應義塾大学商学部教授) 委員 東ヶ崎将(JILPT監事)(議事進行) 委員 小林伸行(JILPT監事(非常勤)) | |
| 審議対象期間 | 1.平成30年3月14日~平成30年3月31日に契約締結された案件 2.平成30年4月1日~平成30年6月7日に契約締結(予定)の案件 | |
| 1.一般競争入札 | 11 件 | |
| 2.競争性のない随意契約 | 14 件 | |
| 3.一者応札・一者応募 | 0 件 | |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | 回答 |
| | ☐記のとおり | 下記のとおり☐ |
| | 意見・質問 | 回答 |
| 機構側から、審議案件について契約概要を説明し、全体をご審議いただいた。 | | |
| 1.調達等合理化計画 | | |
| 【平成29年度調達等合理化計画の自己評価に対する留意点及び自己評価、平成30年度調達等合理化計画の策定に関する留意点及び計画の点検】 | | |
| ・競争性のない随意契約について、機構が要因分析をし評価した結果(「止むを得ない理由があり、随意契約にした」こと)を明確に記録する方が良いのではないかと。 また、一者応札・応募の改善のために、引き続き入札公告掲載前に、資格要件を満たしている業者に対し積極的な情報提供を行い入札参加を推奨することは重要だ。それだけではなく、その他の対策を講じることの検討が必要だ。 | | ・ご指摘事項を踏まえて、調達等合理化計画の自己評価に対する留意点及び自己評価を修正の上、再度各委員に提示する。 |
| 2.一般競争入札案件 (平成30年3月14日~6月7日契約締結) | | |
| 【案件1】 | | |
| <資料No.6-9「平成30年度月刊誌『Business Labor Trend』のレイアウト・デザイン及印刷・製本等の委託業務」>及び <資料No.6-11「平成30年度国際関連事業に係る翻訳(英独仏中韓及び主要アジア・欧州言語および和訳及び和文の英韓及び主要アジア・欧州言語訳の一括委託)業務の委託)> | | |
| ・同案件は総合評価落札方式にて、価格審査・技術審査の合計点にて業者選定を行ったものである。総合評価落札方式は、「品質の確保」が重要なので、評価の客観性を説明できるようにすることが必要だ。 | | ・技術審査委員は、毎年数名毎に交代しており、入札案件の担当課職員以外の者が、審査委員になる。また、客観性を確保するための技術評価は、サンプル事例を業者が英語で翻訳した資料を、審査委員が技術評価するものである。 |

| 意見・質問 | 回答 |
|---|---------------------------|
| 3. 随意契約案件 (平成30年3月14日～6月7日契約締結) | |
| 【案件1】 | |
| <資料No.8-6「平成30年度労働大学校研修棟建設に係る監理業務」の委託> | |
| ・研修棟建設工事が2年計画であれば、「監理業務の委託」も2年計画行うべきであったと思われる。予算の確保を含めて、計画的に行うことが必要だ。 | ・同様の案件の調達が発生した際は改善して参りたい。 |
| 4. 一者応札・一者応募案件 (平成30年3月14日～6月7日契約締結) | ・当該案件は無し。 |
| 5. 契約事前点検 (平成30年6月～平成31年3月予定) | ・新規案件2件については、特段の意見は無し。 |
| | |